

NEWS RELEASE

大通東5丁目・6丁目の土地利用に係る公募プロポーザル(札幌市主催)において 水素エネルギーを活用した集客交流施設 「(仮称) LAPEACE SOSEI(ラピス創成)」選定

札幌市は、「水素エネルギーを活用した、災害に強く環境にもやさしいまちづくり」を目的に「水素モデル街区」を推進しており、その足がかりとして大通東5丁目の市有地において北海道初となる大規模商用水素ステーションが4月1日にオープン。さらに、隣接する水素ステーションから供給される水素を活用する「大通東5丁目・6丁目の土地利用に係る集客交流施設の整備に関する公募プロポーザル」を実施し、株式会社土屋ホーム不動産(札幌市、代表取締役：所 哲三)が応募した集客交流施設「(仮称) LAPEACE SOSEI(ラピス創成)」が選定されました。

本施設は、北海道初^{*}の木造4階建てマンションの実績を持つ株式会社土屋ホームが設計・施工を担い、水素エネルギーの導入と高い省エネ性能を持つ木造建築により、GXまちづくりのモデルとなる集客交流施設を2027年度末までに整備し、2028年度の開業を目指しております。

※当社グループ調べ

集客交流施設「(仮称) LAPEACE SOSEI(ラピス創成)」の概要

(1) 建物の構造・規模

- ・木造4階建て
- ・建築面積：563.11㎡/延床面積：約2,000㎡

(2) 建物の用途構成

- ・簡易宿泊施設(1階-4階) 1,436.76㎡
- ・商業・交流施設(1階) 149.47㎡
- ・共用部(各階) 318.40㎡

(3) エネルギー設備の概要

- ・水素燃料電池、太陽光発電、再エネ電力の連携
- ・施設の用途・規模・負荷想定から最適な機器スペックの選定
- ・水素燃料電池・太陽光発電・再エネ電力を活用した効率的なエネルギー供給
- ・複数のエネルギーの複合利用によるバックアップ機能

■特徴的事項

- ①GXまちづくりのモデルとなる施設(木造ビル、緑地創出、ゼロカーボン化)
- ②創成イーストや都心中心街を歩いて楽しむ宿泊施設
- ③地域住民や来街者の交流を広げる商業・交流施設

■事業開始時期

2028年度開業予定(宿泊施設及び商業・交流施設)

■応募事業者

代表企業：株式会社土屋ホーム不動産(施設の開発・所有)
構成員：株式会社じょうてつ(宿泊施設の運営・管理)

■協力会社

- ・株式会社土屋ホーム(施設の設計・施工)
- ・株式会社ノーザンクロス(商業・交流施設の運営・管理)
- ・北海道アセットマネジメント株式会社(事業収支計画作成・不動産証券化支援)



(仮称) LAPEACE SOSEI(ラピス創成)完成イメージ



宿泊室内イメージ



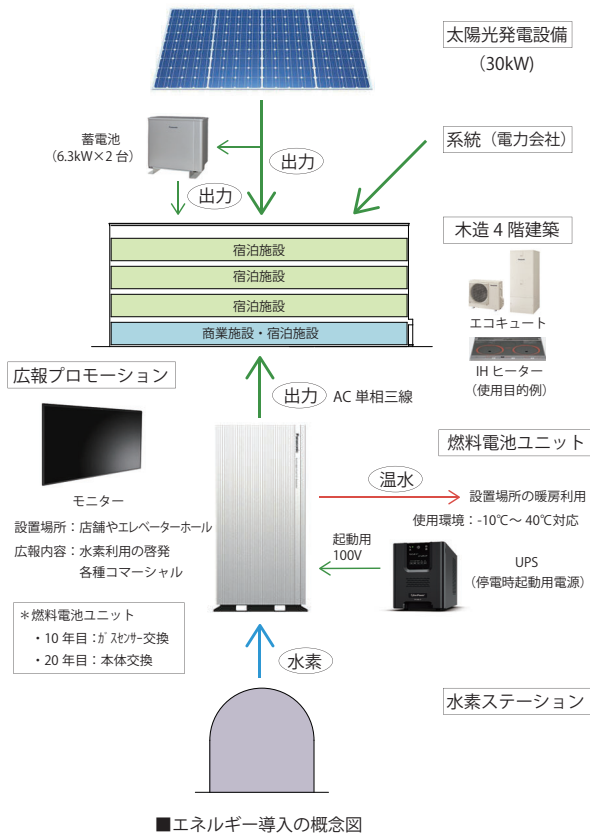
ベーカリーカフェイメージ



■所在地

札幌市中央区
大通東5丁目12番13、
大通東6丁目12番22

水素エネルギーを導入し、脱炭素を目指す 木造4階建て集客交流施設「(仮称) LAPEACE SOSEI (ラピス創成)」



水素エネルギーの導入

①水素燃料電池の設置

- 施設の用途と規模、負荷想定に適應したエネルギー設備の導入
- 時間帯や季節等に応じた効率的なエネルギーの運用
- 複数の再エネの組み合わせによるバックアップ機能の確保

②太陽光発電設備の設置

- 屋上に30kWの太陽光発電設備を設置し、施設内で自家消費
- 蓄電池を併設し、夜間利用とバックアップに対応

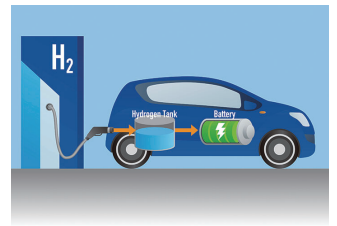
脱炭素先行地域としての取組

◆電力消費に伴うCO₂排出ゼロ (2030年度まで)

FCEV カーリース

水素の需給一体型サプライチェーンの構築

隣接する水素ステーションからの水素供給と連携し、駐車場内にFCEV (水素燃料電池自動車) のカーリースを導入予定。宿泊客はもとより、市民にも水素を知って、触れて、利用する機会を提供します。



木造建築による高い省エネ性能

脱炭素社会の実現に向けて、環境共生住宅として中高層建築の木造化にチャレンジし、誕生したのが「LAPEACE (ラピス)」です。

建物の主要構造部材は、すべて北海道産。同規模の鉄骨造やRC造のマンションに比べ、CO₂排出量を削減し、作る過程でも環境負荷を低減。「(仮称) LAPEACE SOSEI (ラピス創成)」は、高い省エネ性能を導入することで、ZEB Ready以上の水準を達成し、木の快適性を享受しながら地域の皆さまと共にSDGs達成に貢献できます。



POINT 1 木造4階建て



先進の施工技術による耐震性能や耐火性能の向上により、木造4階建て共同住宅が2022年に実現。木造は躯体の軽量化、短工期により、RC造に比べ低コストで建てられるのが大きな特長です。

POINT 2 北海道産材



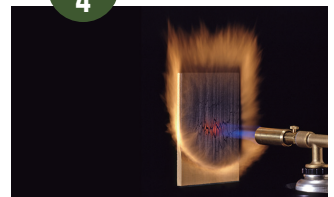
北海道産材 (地域材) を活用することで、木材の輸送にかかるエネルギーやCO₂排出量を削減し、健全な森林環境の維持、環境保全や地元企業との連携を通して地域経済に貢献します。

POINT 3 耐震開口フレーム



開口部を耐震化する「耐震開口フレーム」を構造躯体に組み込み、建物のねじれを抑制し、地震に強い建物を実現します。4階建てでも一般的な木造軸組工法による建築が可能です。

POINT 4 1時間耐火構造



本施設は、1時間耐火性能を確保した木造耐火建築物です。木造軸組工法に、強化石膏ボード2重張りを用いて耐火性能を確保し、ご利用者の安全性を高めます。

※写真・パースはイメージにつき実際とは異なります。